

# 新考古覧

岡谷市史編さん室だより『新考古覧』No.35

2025(令和7)年 12月

岡谷市教育委員会生涯学習課

岡谷市史編さん室 編集・発行

岡谷市中央町1-11-1 イルプラザ3F

TEL 0266-78-8455



WEBはこちら

新考古覧：古い事柄を顧みて、新しい問題を考察すること

～岡谷の歴史を深く思い、岡谷の今を重ね、岡谷の未来が拓けるような新しい市史をめざして～

## 調査レポート「諏訪湖①・水質保全」

### 『人と生き物が共存し、誰もが訪れたくなる諏訪湖』の実現に向けて



#### 昭和46年の諏訪湖

湖面はアオコで緑色に染まっている  
(豊田終末処理場提供)



1960年代には諏訪湖への産業排水や生活排水の流入量が増加しました。水質汚濁の進行、アオコの異常発生、大量のごみの流入等で悪臭も発生し、諏訪湖は危機的な状況でした。

- ◆ 長野県では、昭和 61 年 11 月に諏訪湖が「湖沼水質保全特別措置法」に基づく指定湖沼となったことを受け、昭和 62 年から現在まで8期にわたり「諏訪湖に係る湖沼水質保全計画」を策定しており、下水道の整備、工場等からの排水規制強化等を継続して行っています。
- ◆ 平成 30 年には「諏訪湖創生ビジョン」が策定されました。【裏面参照】
- ◆ 平成6年からは「人工なぎさ」による親水性の向上にも取り組んでいます。
- ◆ このほか諏訪湖に関わる各種団体の連携や地域住民の努力もあり、諏訪湖の水質は改善され、透明度も向上しました。

### その結果、今では「泳げる諏訪湖」となりました

(国が定める水浴場の水質判定では、遊泳「可」にあたる「B」)

スワコエイトピークスミドルトライアスロン 2025 (R7.6.29)

2022 年の初開催から3回目。全国33都府県から735人がエントリーした。

「諏訪湖に飛び込み力強く泳ぎ始める選手達」 R7.6.30 長野日報1面(部分)

### 諏訪湖の浄化に大きな役割を果たしている「諏訪湖流域下水道の整備」

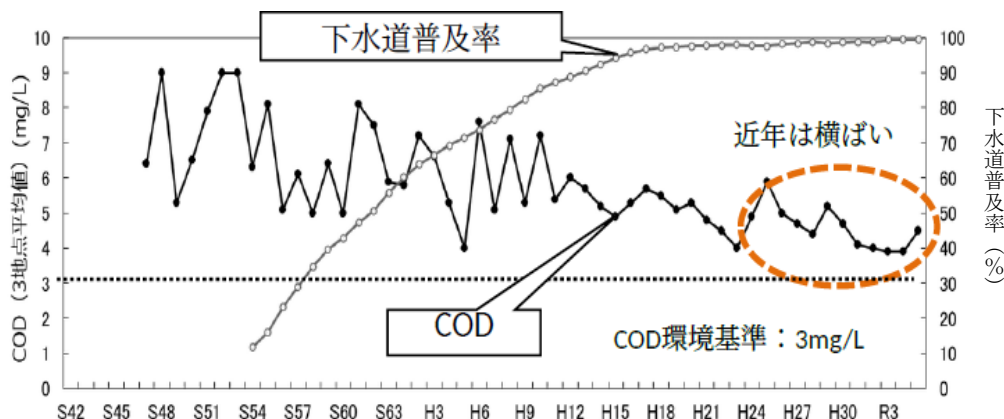
#### 【豊田終末処理場】

諏訪湖、天竜川及び流入河川の水質保全、生活環境の改善のため、昭和46年に県が流域下水道事業に着手。昭和54年10月に一部供用開始、平成28年4月の白樺湖幹線工事竣工により関係全市町村(岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町、原村、富士見町、立科町)が供用となる。計画処理人口 151,700 人

#### 水浴場判定基準

適	AA
	A
可	B 諏訪湖
	C
不適	

諏訪湖の COD と下水道の普及率(～R5) 諏訪地域振興局作成 ※COD「化学的酸素要求量」有機物による汚濁の程度を示す数値



豊田終末処理場

写真：R7 市史編さん室撮影

## ■諏訪湖創生ビジョン

諏訪湖の水環境保全(水質・水量・生態系等)を統合的に推進し、諏訪湖を活かしたまちづくりと一体的にすすめる、「泳ぎたくなる諏訪湖」「シジミが採れる諏訪湖」「誰もが訪れたいくなる諏訪湖」を実現するための道筋を示すものとして、平成30年に県が策定しました。県、市町村、地域住民、企業等が協働し、地域一体となって諏訪湖を創生するための拠りどころとなる長期ビジョンです。(長野県諏訪地域振興局)



## 水辺の再自然化と親水性の向上

「人工なぎさ」全国初の試み 平成6(1994)年～治水機能を保ちながら自然を取り戻す画期的な取組。県はコンクリート護岸の内側に土を入れ遠浅の岸辺を作り、そこにヨシやマコモを植えました。水質は改善され、「ふれあいなぎさ」等により人々が湖に近づきやすい環境も作られました。



上左:H20.5.14 長野日報1面(部分) 湊小学校前、人工なぎさの造成  
上写真:R7 市史編さん室撮影 水鳥が憩う現在の湊小学校前人工なぎさ  
右:R7.7.13 岡谷市民新聞1面(部分)

## 課題 ヒシの大量繁殖

ヒシの大量繁殖により、湖岸域の貧酸素の発生、漁船や観光船の運航の支障、枯死・腐敗による悪臭の発生、湖底への堆積による水質悪化などが生じています。

■R7年7月12日に岡谷市と環境市民会議おやか、諏訪湖漁業協同組合が関係団体や市民 90 人余りと除去作業を実施。約2トン回収した。自然環境全体の保全にも意識をたかめてもらおうと2012年度より毎年行う体験事業 (R7.7.13 岡谷市民新聞より)



舟に乗ってヒシを回収する参加者

## 「泳げる諏訪湖」から「泳ぎたくなる諏訪湖」へ

諏訪湖の水質は改善されてきて「泳げる」状態にはなったが、諏訪湖創生ビジョンが掲げる「泳ぎたくなる諏訪湖」へは道半ば。諏訪湖創生ビジョン推進会議では令和元(2019)年に「諏訪湖の日」を制定した。毎年9月から10月にかけて住民の意識向上のため、官民挙げて様々な活動が行われている。



『諏訪湖の日関連イベント』のひとつ、諏訪湖周一斉清掃  
今年度は10月5日に実施 約700名が参加  
写真:[左]市史編さん室撮影 【右】岡谷市環境課提供



上左:R6.9.15 岡谷市民新聞1面 諏訪湖を泳ぎ手を振る長野県阿部知事(右から3人目 8月撮影)

## 『諏訪湖創生ビジョン』が目指す諏訪湖の姿

「清らかで人々が親しむことができる湖水・湖辺」「多種多様な生き物を育む湖」  
「人々が憩い、やすらげる水辺空間」「諏訪湖の恵みを知り、育つ学びの場」

< 参考資料 >

「諏訪湖創生ビジョン」2023.3 長野県諏訪地域振興局 「諏訪湖に係る第8期湖沼水質保全計画」2023.3 長野県  
「諏訪湖治水の歴史」2008.3.31 長野県諏訪建設事務所 「クリーンレイク諏訪パンフレット」長野県諏訪湖流域下水道事務所  
(担当:市史編さん室専門職員 櫻井洋)